

富良野看護専門学校 広報誌

看 心 ふ ら の 第 3 号

発行日 平成22年9月27日(月)

発行者 富良野看護専門学校

○ 見事！優勝！！・・・「スポーツ交流会」のリーダーとして 2年 渡部 あずさ  
今回、当番校となり多くの事を体験し学ぶことができたと思います。実行委員になり毎日仕事が増え、他の委員会や他校との連携を取ることや責任感を持って仕事をするこの大変さ、周りの意見をまとめ実行していくことの難しさを学びました。ですが成功させるために皆で考え、努力した分、当日成功させることができたのだと思います。

辛い事や上手くいかない事もあったけれど最後には達成感につながり、いい経験をする事が出来たと思います。 (\*本校は他校と分け合う2年連続の優勝を飾りました。)

○ 第17回富良野看護専門学校祭・・・地域との交流 2年 山根 紅香

今回の第17回学校祭は、今まで2日間だった日程を1日で行い、新たな試みの多い学校祭となりました。実習やスポーツ交流会の当番校などで準備が間に合わず、夏休み中に準備をするという状況がみられましたが、準備の甲斐あって、当日は学生も一般の方も楽しむことができ、充実した1日となりました。一般の方に書いていただいたアンケートには、優しさにあふれたメッセージが多く、地域の方々の温かさに触れることができました。 (\*午後的一般公開には子供から大人まで多数の皆様が来校されました。)

・・・「市内施設見学を終えて」・・・ (レポートの要旨抜粋を掲載No.2)

□ 1年 根本 千奈未 (略) 生涯学習センターでは、盆地である富良野の美しい自然を未来につなげていくためには、一人一人が環境の大切さを考えていくことが重要だと感じました。リサイクルセンターでは、私たちが普段出しているゴミが再利用され、様々な職種、地域の人々に支えられ生きていると実感しました。市内施設見学で富良野市の新たな魅力を発見でき、自分たちも自然などについて考えていき、これからも富良野の魅力をたくさん見つけていこうと思います。 (\*15枚もの写真をレポート掲載した力作です。)

□ 1年 広瀬 彩 (略) 今回、施設を回って最初は観光気分だったが、説明を聞いた後、施設の関連性に気付くことで、富良野がどんな地か、そして良さに気付くことができたし、今まで知らなかった施設がどう貢献し、役立っているか理解できた。自然がきれいな富良野でいられるのは、環境について市全体で協力し合っているから、観光地として多くの人々が訪れているのも市民のアイディアや行動から魅力的な土地でいられるということ。これからは、私もそれを意識して富良野地域で働き、貢献したいと思った。

(\*新たに発見した地域のよさや自らの心構えをよく整理したよいレポートです)

・・・ SCHEDULE ・・・ 8/30～10/21の行事等(含予定)

- 8/30(月)3年生臨地実習4クール 2年生成人実習(～9/17)(了)
- 9/17(金)施設別実習指導者会議(15:30～市立芦別病院)(了)
- 9/24(金)全学特別講演会 富良野国の子寮 高島正人施設長(了)
- 9/27(月)3年生臨地実習5クール(～10/15)
- 10/13(水)富良野看護専門学校就職説明会(本校多目的講堂)
- 10/15(金)道看護教育施設協議会(札幌市 学校長、教務課長出席予定)
- 10/21(木)・22(金)ケース・スタディ発表会(3年生)(本校視聴覚室)

### 耳よりヘルシー HEALTHY トピックス

健康の源は細胞の働き ～ 要は「食う、寝る、出す」

人体は60兆個もの細胞からなり、神経やホルモンの調整により移動、消化吸収、分泌等様々な役割を果たして体の機能がきちんと働き健康状態が維持される。細胞は壊れやすく、生きていくには、①栄養、水分、酸素の補給②修復する③二酸化炭素や老廃物の排除が必要。これを普段の生活に言い換えると、①ご飯を食べ②眠って休んで③排尿、排便すること。これら3つは密接に絡んで反応し順調に行われることが健康の秘訣。(講演会「人のカラダは細胞社会」札幌医科大学 当瀬規嗣氏<道新記事抜粋>より)

### ++++ あ・ん・て・な ANTENNA +++++

「看護職は、医療職種の中で最大のマンパワー！」(「からだの科学増刊'10日本評論社」)

わが国の国家資格の看護職には「保健師、助産師、看護師」があり、看護師とは「傷病者若しくはじょく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者」をいう。(保健師助産師看護師法)2008年の厚生労働省調査によると、全国の保健師43,400人、助産師27,800人、看護師は1,252,500人(いずれも概数)で、'27年の合計需要数は150万人に上る見通しであり、特に、看護職は医療職種中で圧倒的なマンパワー、存在感を誇る。近年の医療の高度・複雑化を背景として、その役割拡大は急務で、上記法改正を契機に看護職の資質・力量の向上が一層期待されている。

### ささやき S&T ・・・ 学生の、教員の、みんなの声

S: 今回の実習では、記録物が大変でした。寮では友達と「起きて!頑張ろう!」と声をかけながら、記録を頑張ることができました。大変な実習でしたが、学びがたくさんありました。(実習を終えて～2年)

T: 朝夕に構内で学生と、「おはようございます。今日も頑張ったね、さようなら。」というような元気のよい挨拶を交わすと、とてもすっきり、さわやかな気持ちになります。「看護技術と人間としての心」ますます健やかに育てと願います。(学校長 丸)

(編集子: 長い残暑から一転肌寒くなり、体調に留意を。第3号お届けします。)